

休校が続きますが、どのように過ごしていますか。外出自粛で自宅にいる時間が多い今、じつくりと将来のことを考えてみてください。

キャリアイメージ

進路指導と聞いて、何をイメージするでしょうか。具体的な進学・就職先を決めることをイメージする方も多いと思います。現実問題として直近の進路先を決めることは重要ですが、**将来の幸せへのキャリアイメージを持つこと**がさらに重要なたと実感しています。「とりあえず指定校推薦で入れる学校へ行き、その後のことは後で考えればよい。」

終身雇用が崩れかき、企業の寿命も変化してきた現代社会。偏差値、点数という単純な軸で方向性を決めると、今後の変化に対応は難しいと思われる。もう勉強したくないから就職、就職はまだ早いから進学という近視的な選択は、後々苦労することになる可能性が今以上に高くなると思われる。

経団連のHPに、次のようなものがありました。一部を抜粋して紹介します。

今後の採用と高等教育に関する提案

2018年12月4日

一般社団法人 日本経済団体連合会

・この新しい社会を創造、発展させていくのは次世代の若者であり、変化に対応し自ら新しい価値を生み出すことのできる、高度で多様な価値観や個性を持つ

つ人材の育成と、彼らが活躍できる環境整備が必要である。

新卒採用時の企業の対応の現状

・学生に求める資質・能力

採用にあたり、理系・文系の別や職種にかかわらず、社会人の資質として、創造性、チャレンジ精神、行動力、責任感、論理的思考能力、コミュニケーション能力、忍耐力、協調性等が重視されている。

1. 文系・理系の枠を越えた基礎的リテラシー教育

多様な価値観が融合するSociety 5.0時代の人材には、リベラルアーツといわれる、倫理・哲学や文学、歴史などの幅広い教養や、文系・理系を問わず、文章や情報を正確に読み解く力、外部に対し自らの考えや意思を的確に表現し、論理的に説明する力が求められる。さらに、ビッグデータやAIなどを使いこなすために情報科学や数学・統計の基礎知識も必要不可欠となる。

2. 高等教育の質保証—アクティブラーニングと成績要件・卒業要件の厳格化—

・「大学全入時代」を迎えた現在、**定員割れを防ぐために、実質無試験で学生を入学させるなどアドミッションポリシーが形骸化した大学もある。**

・高校卒業時に、大学で学ぶ最低限の基礎的学力が備わっているようにすることが重要である。また大学入試では、原則として、文系でも数学を、また理系でも国語を課すことを検討すべきである。

https://www.keidanen.or.jp/poli/cy/2018/113_honbun.html#e73

一つの資料として、現実の企業や社会が求めている人材像を意識してもらえば幸いです。AIの発達とともに、**多様な他人と協働してチームで結果を出せる人材**が一層求められています。単なる知識は、スマホで調べれば済んでしまう時代です。

多様な他人と協働する力はどこで身につけられるのでしょうか。それは学校です。

高校の授業を大切に！

市柏生の多くに、義務教育時代から培われた！「授業は『教えてもらう』受け身感覚」が染みついていてのように感じます。先生に教えてもらう、誰かにやってもらう感覚です。これを、自分が「学ぶ」に変えることが必要です。**新しい学習指導要領に示された 主体的・対話的で深い学び**は、今後の社会で活躍するために欠かすことのできない力の育成を目指しています。

これからの授業は教科を学ぶことに加え、その上に題材を通してコミュニケーション力や多様な人と協働する力も身に付ける場です。文系だから数学はやらない、理系だから社会はやらないという時代ではありません。授業という貴重な時間を、寝てしまったり、遊びたい欲求のままに行動しては、二度と戻らない**「人生で一番の輝きの時」**が本当にもつたいないです。幸せな人生を歩むための力をつける時間、そういう授業を自らつくり出してください。授業に真剣に取り組むクラスの空気を、どのクラスもつくりましょう。その空気は、自分をプラスの方向に必ずや後押ししてくれます。



進路指導部では、進路選択に生かせる情報や考え方を提供したいと思っています。この通信は保護者の方にも読んでもらってください。記事を話題に、会話をしてもらえば幸いです。